

## 評価シート 様式

取組名	「鏡川・天然アユ遡上100万尾」高知市元気再生プロジェクト		
実施団体名	高知市	対象地域	高知市
(代表団体名)		推薦団体名	

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	「鏡川・天然アユ遡上100万尾」高知市元気再生プロジェクト		
実施団体名	高知市	対象地域	高知市
(代表団体名)		推薦団体名	

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見
	環境と食をテーマに森林整備、河川浄化、バイオマスや自然エネルギーの利用拡大、エコ農業、商店街活性化など多様な課題に関わる取組を複合的に推進するものである。取組の中には民間企業との連携による民有林整備などの全国のモデルとなるものも含まれており、円滑に機能するスキームが完成すれば他地域への波及が期待できる。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。	
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	庁内多部署が連携して、地域の潜在力を活かしながら環境と食をコンセプトとする多様なプロジェクトを同時並行的に推進し、市民意識の高揚と産業振興等を図ろうとする取組は地域活性化に資するものであると評価できる。今後は、20年度の取組を整理し、それぞれを自立的な事業として展開していくための体制構築等の取組に重点的に地方の元気再生事業を活用することにより、本格展開に向けた継続的な展開が期待できるものである。
	次年度以降については、20年度の各取組を十分に整理した上で必要な事項を推進するべきである。特に、未利用資源活用・利用計画策定及び事業化については具体的な展開の姿を明確にした上で必要な取組を行なうように見直すべきである。また、市民農園の開設及び有機農業教室は21年度から自立的に実施・運営されるべきである。ECO商店街については、イルミネーションに対する市の補助も決まっており、20年度の取組を踏まえて自立的に継続されるべきものである。